

BIA-ALCL

津川浩一郎

聖マリアンナ医科大学外科学乳腺・内分泌外科教授

乳 房インプラント関連未分化大細胞リンパ腫 (breast implant-associated anaplastic large cell lymphoma : BIA-ALCL) はT細胞性非ホジキンリンパ腫のひとつで、乳房インプラント周囲

に形成される被膜組織から発生する悪性腫瘍である。乳房インプラント挿入者約2,207～3,345人に1人の頻度で、インプラント挿入から平均9年(0.08～27年)で発生するといわれている。主にテクスチャードタイプ

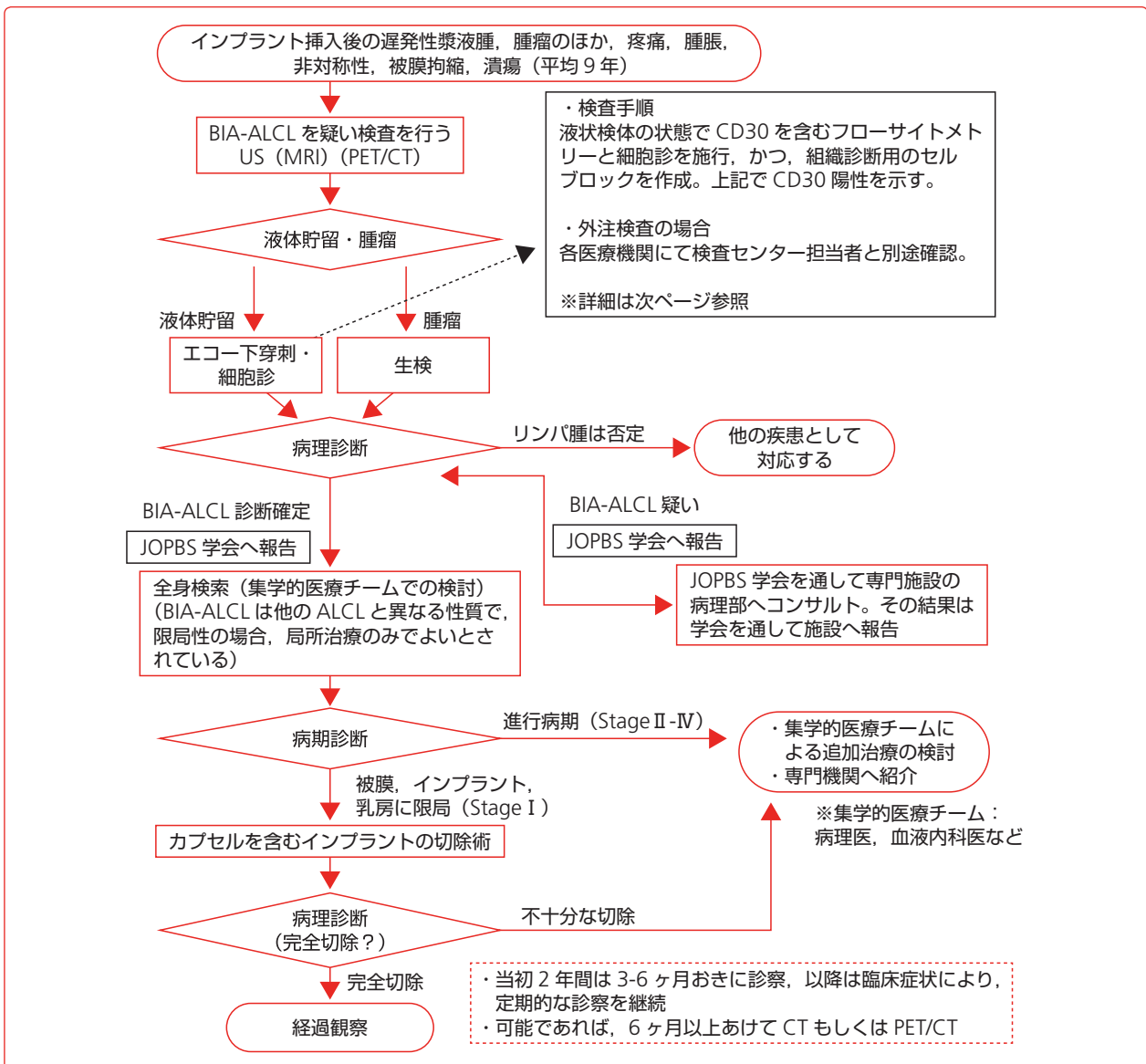


図1 BIA-ALCL 疑い症例に対する検査・治療フローチャート

(文献1より引用)